

サンフレンズだより

No.34 2006.11.29
 発行：社会福祉法人 サンフレンズ
 編集：法人本部 事務局
 〒167-0023
 杉並区上井草3-33-10
 03-3394-9833

善福寺三丁目特別養護老人ホーム

前号(NO.33)のサンフレンズだよりでは、善福寺三丁目の特別養護老人ホーム「善福寺園(仮称)」が、9月11日に着工したことをお伝えしました。

法人では、建設工事と平行し、職員の募集や人員配置の検討など、オープンへ向けて様々な準備を進めています。今号では、施設の名称と入居者の募集についてお知らせします。

名称決定しました!! 「特別養護老人ホーム サンフレンズ善福寺」

11月3日に開催した理事会で、施設の名称が決定されました。

この名称は次の理由で決定しました。

1. 親しみやすい名称であること。
2. 法人名と地名を表現していること。
3. 複合施設であるサンフレンズ上井草(特別養護老人ホーム上井草園、上井草ふれあいの家、サンフレンズ居宅介護センター、ケア24上井草)と同様の名称にできること。

そのサンフレンズ善福寺では、「**個の尊重**で、**施設が住居に変わります**」を合言葉に、基本コンセプトである

1. 利用者主権
2. 施設の在宅化
3. 地域にでる

これらを徹底した個別ケアで都市型モデルをめざし、実現できるよう、努力してまいります。



南西面鳥瞰図

「サンフレンズ善福寺」 入居者募集

住 所：杉並区善福寺三丁目二七番

対象者：要介護1以上の方で常時介護を必要とし、在宅で介護を受けることが困難な方。

利用料：要介護度や所得などにより、75,000円～150,000円程度。理美容料金などの実費負担は除く。

定 員：30名

受 付：12月1日(金)から開始

申込み：本人または家族が、「入所申込書」と「入所申込者状況票」に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。なお、すでに区内と区外協定特別養護老人ホームへの入所申込みをしている方で、サンフレンズ善福寺への入所を希望する方は、「入所申込書」と「入所申込者状況票」と「変更届」を記入してください。(申込書は区内または区外協定特別養護老人ホーム・各ケア24にあります。)

連絡先：社会福祉法人サンフレンズ
特別養護老人ホーム上井草園

電 話：03 - 3394 - 1094

担 当：渡辺、相原



11月上旬の基礎工事の様子です。まだ地下部分のコンクリート、鉄筋、足場ですが、地下1階、地上2階の3棟が建設されていく様子を、紙面を通じて随時お知らせしていきます。

「サンフレンズ善福寺」の特徴

ご利用者10名程度のグループを生活の単位とし、介護サービスを提供する区内で初のユニット型特別養護老人ホームです。特別養護老人ホームとは、身体が不自由なため寝た

きり状態の方に、日常生活に必要な介護・機能訓練、療養上の世話などのサービスを提供する施設です。

サービス向上のための取り組み

全室トイレ付き個室・ユニットスタイルは、施設から住宅(住居)へとより家庭的な環境を提供します。

十分な職員配置と専門職のチームケアで利用者の尊厳を守り、個別ケアに努めます。施設から地域に出て、近隣との関係を構築し、利用者の市民生活を大切にします。

法人の理念

サンフレンズは、杉並区民の老後を良くしようと地域住民が30年前からボランティア活動を開始し、その実践と活動を経て設立された法人です。

できるかぎり自由に、どこまでも対等に、利用者・家族・ボランティア・職員・役員が互いの立場を認め、民主的運営を行います。



管理職紹介

前号(33)ではサンフレンズ上井草の管理職員をご紹介しました。今号では4つのふれあいの家の所長をご紹介します。

高齢者在宅サービスセンター-和田ふれあいの家 サンフレンズ和田支援センター

所長 菱木 幸治

サンフレンズが誕生した10年前に新人職員として採用され、現在に至っています。最初の頃は要領が悪く仕事を覚えるのも遅くて、失敗ばかり。自分はこの仕事に向いていないのでは？と思いながら悩む日々が続きました。(今もそう思っています。)



皆さんに支えられながら、何とかやってきました。これからどうぞよろしくお願ひします。

高齢者在宅サービスセンター-和泉ふれあいの家 サンフレンズ和泉支援センター

所長 金子 穂純

私の特技は音楽とお笑い。ずっと天からの授物と思っていたところ、実は、父(76歳)譲りだと最近判明。



思えばこれまでの人生、父とゆっくり話をしたことはなく、父の人間像を知ったのはごく最近のこと。

父への感謝の気持ちを込め、特技を活かし、利用者の皆さん・地域の皆さんを、必ずや元気にしてみせます。

高齢者在宅サービスセンター-松ノ木ふれあいの家 サンフレンズ松ノ木支援センター

「新しい介護」

所長 石坂 誠

今話題の「新しい介護」。生活モデルに基づいた新しい介護は、「一緒に食事をする」「後始末でない排泄ケア」「機械浴ゼロ、分業なしの入浴ケア」プラス遊びリテーションが基本となります。どれも簡単そうですが、実践することはなかなか大変なようです。サンフレンズでも「新しい介護」を！が、目下の私の夢です。



高齢者在宅サービスセンター-永福ふれあいの家 サンフレンズ永福支援センター

所長 石毛 栄一

大学を卒業後、福祉の仕事はずっと続けて30年以上になりました。時代とともに福祉の考え方も大きく変わりますので、新しい制度に遅れないように頑張っております。

利用者の皆様は、私の親の世代です。私は、すでに両親を亡くしておりますので、利用者おひとりお一人から親のように教えていただくことがたくさんあります。この出会いを大切にして、出会えた喜びを共有したいと思います。



法人への寄付金を賜り厚く御礼を申し上げます。

(2006年9月1日から2006年10月31日までにご寄付をいただいた順に掲載)
永井健次様・高橋文子様・高井武雄様・安藤伊三郎様・村上昌俊様・
渡辺ミツエ様・野田澄子様・平賀靖夫様・匿名希望2名様

ボランティア紹介



第20回

「初めてのボランティア」 隈井 肇さん

2001年に70歳を迎え、これを機会に



ボランティアとして「永福ふれあいの家」を選び、早いもので来年1月で満5年となります。

水曜日と土曜日の10時から16時まで利用者の皆さんと関わりをもつことにしたわけです。慣れるまでは大変でしたが、しばらくして利用者の皆さんとの対話など自信が持てるようになりました。そんななか、利用者の皆さんに『麻雀』を取り入れたり、囲碁のお相手をするようになりました。特に「麻雀」は、指先を使い、頭を使うことで、利用者の皆さんには大変良いことだと考え、「麻雀教室」を開き、やってみたい人に教えることにしました。

やがて麻雀人口も増えて、日曜大工が得意な小生なので、麻雀台を2台と基盤を置く台を作りました。水曜日には花札をやる人もいるので、もう1台作らねばと思っています。椅子を直したり、踏み台を作ったりしている

のを見て、事務所の方々から“隈井工務店”などと言われたりしています。

なんでも相談してください。また、利用者の皆さんが、歌を唄うのが好きという人が多いと聞き、カラオケセットを購入したらと事務所に申し入れましたが、なかなか予算が取れないとのこと。それならば、と、少しでもお役に立てばと思い、「カラオケセット」を寄付させていただくことにしました。

利用者の皆さんがカラオケを喜んで利用されているのを見るにつけ、「ああ、良かったな」といつも思っています。

最近、趣味のステンドグラスを飾らせていただき、皆様に好評を得ているようです。

今では、利用者の皆さんとのコミュニケーションも十分取れるようになり、毎週水曜日、土曜日に来るのを楽しみに通っている小生です。

利用者の皆さん、お元気で長生きしてください。職員の皆さん、ご苦労さま。

運転手の皆さん、ご苦労さま。安全運転をよろしく。小生もなるべく休まないように、体力の許す限りボランティアを続けるつもりです。今後ともよろしくお願いいたします。

サンフレンズだより・ホームページへの
ご意見・ご感想をお寄せくださいの

本部事務局 電話:3394-9833

FAX:3394-9834

担当:星

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E mail アドレス

Kamiigusa@3friends.or.jp